

各項目について

- ・ 十分に達成できた場合（達成度 80%以上）は A
- ・ おおむね達成できた場合（達成度 60%以上 80%まで）は B
- ・ あまり達成できていない場合（達成度 40%以上 60%まで）は C
- ・ 達成できていない場合（達成度 40%未満）は D

の4段階で評価したうえで、AおよびBと評価した割合を下記に示している

1) 生徒対象のアンケート結果

○ 生徒の評価が 高かった 項目

1. わたしは学校の規則に従い身だしなみを整えている。(86.0%)
2. わたしは学校生活の中で、他者の人権を大切にすることを心がけている。(79.5%)

● 生徒の評価が 低かった 項目

1. わたしは「図書館だより」等を通じて図書館の活動について知っている。(22.5%)
2. わたしは学校の図書館を利用している。(17.6%)

2) 保護者対象のアンケート結果

○ 保護者の評価が 高かった 項目

1. 学校は商業教育に関して魅力ある商業の学びを地域と連携しながら推進している。(84.0%)
2. 学校は、商業高校として特色ある教育活動を行っている。(84.0%)

● 保護者の評価が 低かった 項目

1. 学校は図書委員会の活動等をととして、イベントを実施し、子どもの図書館の利用促進に努めている。(46.0%)
2. 学校の施設や設備は充実している。(42.7%)

3) アンケート結果の分析と今後の取り組み

- ・ 学校図書館について、今年度も評価が低かったが、生徒や保護者のとらえ方として学校の取り組みがうまく伝わっていないと思われる。春の読書週間や秋の読書日課などを通して、読書の機会を作ってきた。このような取り組みだけでなく、積極的な授業での活用や、新刊書の情報発信などこれまで以上に積極的に行い、読書離れや活字文化への関心を高める工夫をさらに行う必要があると考える。
- ・ 「しがクリエイター12プロジェクト」や「高校版DMO観光ビジネスプロジェクト」における課題研究（商業科科目）において、地域人材や地域の特性を活かした、独創性あふれる取り組みが展開され、高い評価をいただいた。引き続き地域で学ぶ産業教育の充実に向けて取り組んでいきたい。